輝け！五城目びと 25

合同チーム初の勝利を目指す

安田（やすだ）□□さん

（五城目高等学校2年・築地町出身）

試合ではショートを守り、7番バッターを務める安田さん

兄の影響で五城目小学校４年生から野球を始めた安田さん。以降、中学校・高校と野球を続けてきました。小学校６年生の時に東京都千代田区のチームと行った交流戦で活躍できたことが思い出に残っているそうです。

現在のポジションはショート。広い守備範囲や多様な役割が求められる内野の要を担っています。バッティングがあまり得意ではない一方、守備に力を入れている安田さん。普段の練習や試合では、自身に飛んできたボール一球一球に集中し、丁寧にさばくことを意識しているそうです。

今年の夏に行われた甲子園予選の後、３年生が引退し五城目高校野球部は部員数わずか５人に。現在は、西目高校（由利本荘市）との合同チームを結成しています。新体制が始まりまだ１か月程であり、合同チームとしてプレーができるのは土日のみということもあって慣れない環境に戸惑うこともあるそうです。安田さんは、「他校の生徒ともコミュニケーションを怠らずチームの連携を強める」ことを意識していると言います。

これまで共にプレーをしてきたチームメイトに対し、安田さんは、「先輩方には自分の進路に向かって頑張って欲しいです。後輩には野球に対する気持ちを強く持ってプレーに臨んで欲しいです」と話していました。また、「８月31日から始まる秋の大会に向けて、合同チーム初の勝利をつかむため一生懸命練習に励みたいです」と今後の抱負を述べました。

ごじょうめの文芸

【短歌】

帰り来て街の高さを飛ぶ燕　大川　小熊　正明

腹白々と青空を切る

散歩道歩みささえる杖をつき　岡本　二方　征捷

夕日見ながら歩みゆるやか

新時代の祭典なりとパリ五輪　八郎潟町　畑澤　英子

セーヌの川に船上のショー

【俳句】

風に乗り何処の囃子や盆太鼓　畑町　本間　恵子

【川柳】

白米を女優に変えるたまごかけ　秋田市　加藤　春弦

不老不死本当ならば困ります　台　伊藤　均

噂から噂　大きくなる噂　東磯ノ目　菊地　風月

喫茶店はなしの好きな仲間たち　矢場崎　鈴木さくら

お花のお世話をする1歳半の息子

集落支援員 じゅっちゃんの ALOHA（アロハ）! 五城目町。

五城目町のみなさま、Aloha!　集落支援員の八嶋美恵子です。お盆休みに、コミュニティスペース「おうみや」を開けていると、朝市通りに、帰省されたご家族や子どもの声が響き、町全体が嬉しそうにみえました。

住み続ける人は減っても、帰省してくれる家族や、繰り返し旅してくれる人など、この町の自然や人々、文化を大切に想う人の存在すべてが、この町の未来にとって重要だと感じます。

ネイティブアメリカンの格言で、下記のような言葉をご存じですか？

「7世代先のことを考えよ。」(The next seven generations)生活上のすべてのことをする時、7世代先の未来の子孫のためになるか、ならないか、想像してから行動するという意味です。

途方もない時間のようですが、たとえば曾祖母からみると自分は4世代目。ひ孫は7世代目。そう考えると、繋がりに想いを馳せることもそう難しくはありません。

ニュージーランドのポリネシア系先住民マオリには「わたしは川であり、川はわたし。」"Ko au te awa, ko te awa ko au" つまり「自然は自らを含めあらゆるものと不可分の生きた存在」という言葉があります。

なんと2017年にニュージーランド政府は、川にも法的人格を与える法律を制定し、川にも法人が持つあらゆる権利、義務、責任を有すると定めました*1。インドのガンジス川も同じく法的人格を有しています。そして、そのような考え方に基づいて人間優位ではなく、ひとつの人格ある存在として、敬意をもって川の活用を議論しているそうです。五城目町でも馬場目川や森山に人格があるとすれば、川や森への関わり方に変化が起きるでしょうか。

もともと日本にも、木を伐る時、山海のものをいただく時など、感謝の祈りを捧げ、ほかの人や次の世代のことを考えて、余分にはとらないという習慣が自然と備わっていました。

未来へ繋がる在り方とは、新しい考え方を取り込むというより、先人の繋いでくれたいまの生命に想いを馳せることから始まるのかもしれません。

（*1　2020『ナショナルジオグラフィック』3月号）

五高 NEWS

五城目高校のわだいを定期的にお届けします！

キャリアガイダンス

介護ロボット体験

自らの進路と真剣に向き合う

夏休み中に、進路学習の一環として１年生と２年生を対象に、「キャリアガイダンス」と「介護ロボット体験学習会」を本校体育館で行いました。

７月22日のキャリアガイダンスでは、第一希望とする事業所があったため３年生数名も出席し、生徒が各班に分かれて、それぞれの事業所の担当者から仕事内容や福利厚生の説明を受けました。生徒たちは、大型モニターやパンフレットなどを使った丁寧な説明を熱心に聞き記録していました。

翌23日の介護ロボット体験学習会では、生徒が各班に分かれて事業所の担当者から、電動車椅子や見守りセンサーなどの福祉器具の説明を受け体験しました。以下に、生徒の感想発表を紹介します。

●キャリアガイダンス

２年Ｂ組　伊藤□□□

仕事で大切にすべきことや事業所の良さなどを深く知ることができ、非常に有意義な時間を過ごすことができました。

●介護ロボット体験学習会

１年Ｂ組　石井□□

自分は介護に少し興味がありました。説明を聞き実際に体験し、介護のことについてより興味をもつようになりました。就職先の候補として考えたいと思います。

２年Ａ組　大久保□□

将来、介護福祉士になりたいと思っているのでとても有意義な学習会でした。学んだことを将来に生かせるようにがんばりたいと思います。

９月の予定

２日㈪～６日㈮　個人面談週間
16日㈪　就職試験解禁
25日㈬～27日㈮　２学期確認テスト

五城目高校ホームページ：http://www.gojome-h.akita-pref.ed.jp/